



HP : honbun-hoikuen.com Instagram : honbun\_hoikuen

二〇二六年七月  
本分保育園

毎日、蒸し蒸しとしたお天気が続いておりますね。大雨の後は台風...と、今年の梅雨明けはまだまだ先の方になりそうですが、蝉の声も聞こえ始め、本格的な夏も、そこまで来ているようです。そんな中、子どもたちは、雨上がりの水たまりで、バチャバチャと全身を使って泥あそびしたり、タイヤプールで水遊びをしたり...と、楽しそうに遊んでいますよ！絵の具で染め紙をして短冊を作ったり、折り紙で七夕飾りを作ったりと制作も楽しんでます。梅雨から夏にかけて、気候の変化を大きく感じる時期。子ども達の体調管理に気をつけながら、今月も楽しく過ごしていきたいと思ひます。

★願いが叶いますように～★



今年の七夕！  
晴れてよかった(\*^~\*)

梅雨が  
明けたら...

プールあそびがはじまいます！



子どもたちが大好きなプールあそび...ですが、幼児は頭が大きく重いため、転倒しやすかったり、ちょっと浅いところでも鼻と口が水没して溺れることがあるので注意しながらあそびを楽しんでいます。また、内閣府により、プールに入る職員と、活動には加わらず監視をする職員を明確にわけなければいけないことになっているため、本園においても監視する職員を必ず配置して行っています。(監視をする職員は、たすきをかけてわかりやすくします。)

ご家庭におかれましても水遊び等される際は、お気をつけ下さい。

水あそび・プールあそびを安全に行うために...

【おねがい】

- \*手や足の爪を短く切ってください。
- \*健康チェックカードに漏れがないようにご記入ください。
- \*プールで使う持ち物すべてに名前の記入をしてください。
- \*4・5才児さんは、濡れたものを絞ることをお家でもやってみて下さい。



**7月の行事予定**

7日(火) 七夕  
15日(水) ゆめみらい号  
避難訓練  
23日(木) 誕生会

♪パプリン先生のシャボン玉ショー

6月23日(火)に観劇会がありました。今回は、シャボン玉ショー！大きなシャボン玉や次々に出てくる、い〜っぱいのシャボン玉に大喜びのこどもたちでしたよ！



↑  
パプリン先生

### 子どもたちの様子

さくら組



生地を耳たぶくらの柔らかさに！コネコネ～



→じゃがいも包んでじゃがまんじゅう作ったよ～！



登り棒～みてみて～

ちゅういっぶ組



パトカーの前で敬礼！

たんぼぼ組



サツマイモ苗植えたよ～！



折り紙で七夕製作～

うめ組



みんなでスタンプで製作中！



みんなでおままごと～！



♪手をつなごう～  
みんなで手をつなご～♪



タイヤのプールで水遊び！

ひよこ組



水遊び、冷たくて気持ちいい！  
楽しい～な～(o^o)

### 保育参観、お疲れ様でした！

6月3日(水)の保育参観は、お家の方と一緒に遊んだり、リズムしたり、ごはん食べたり...と、子ども達、嬉しそうでしたね！お忙しい中、ご参観頂きありがとうございました。



### 交通安全教室がありました！

6月3日(水)の交通安全教室がありました。おまわりさんから、交通ルールや横断歩道の渡り方を教えてもらいましたよ！

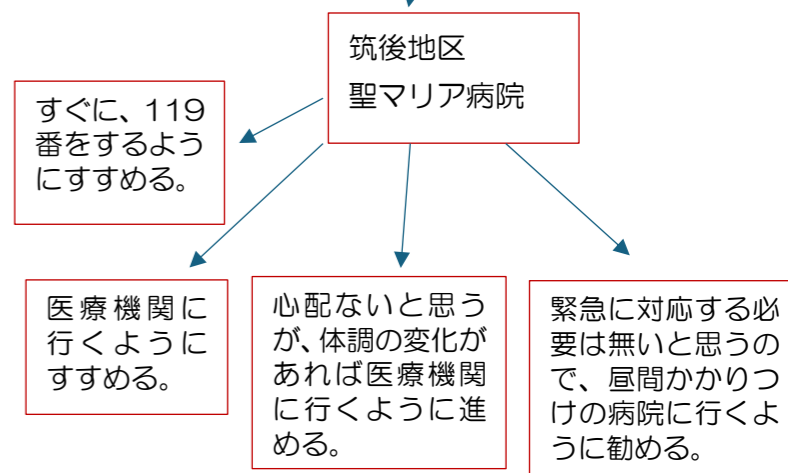


### ご存知ですか？小児救急医療相談

夜間・休日の子どもの急な病気(発熱・嘔吐・けいれん・けがなど)に関する相談をアドバイスしてくれます。特に、夜中は、まず電話をしてみましょう。

子どもの急な病気(発熱・嘔吐・けいれん・けがなど)  
受付時間 19時～23時

県小児救急医療相談 #8000 (県内同一短縮番号)  
\*携帯・ブッシュ回線どちらでもつながります。



あわてず、冷静に対応しましょう。  
親の不安は、即、子どもに不安を与えてしまいますからね。

### 本分保育園では、こんな活動を大切にしています

今月は描画についてご紹介します。

子どもが描く絵は、感情表現や思考力、想像力を育む大切な活動です。絵には、子どもの心の状態や発達が表れます。知的な文字言葉を獲得するところにはまだ来ていない幼児期において、絵は、話し言葉と共に、心、つまり胸の思いを具体的に伝えたり、表現するためのかけがえのない一つの表現手段なのです。本分保育園では、自由にマジックや紙を出して何枚も好きなだけ絵を描けるようにしています。そして、絵を描く時には、「これ何ね？」「上手だね～」と声かけはするものの、「こう書いたら？」など、教えることはありません。自分の頭で「あれを描こう！」と考え、自分の手で描いたものを、本当のその子の表現・思いとして大切に認めてあげたいと考えているからです。その為、子ども達の絵に失敗・間違いもありません。固定された考え方、型にはまった見方ではなく、新鮮な探求が許される中で、その想いを素直に伸び伸びと表現してほしいと考えています。

